

初めての管理薬剤師・薬局長 実践ワークブック



自分の薬局を見て、考えて、
一つ良くしてみる

「初めての管理薬剤師・薬局長 学習ルート」対応

読むだけで終わらせない
現場で試し、振り返り、自分の薬局の改善につなげる

薬局教育部

このワークブックの使い方

記事の内容を覚えるための問題集ではありません。自分の薬局を見て、考えて、実際に一つ行動してみるためのワークブックです。

① 正解を探しすぎない

模範解答より、自分がどう考えたかを大切にします。

② 読むだけで終わらせない

各STEPで小さな実践があります。できる範囲で一度、現場で試します。

③ 全部きれいに書かなくていい

箇条書きや短いメモで十分です。

④ 前のワークを次のSTEPで使う

STEPごとの気づきがつながり、最後には一つの薬局改善になります。

読む → 考える → やってみる → 振り返る → 次へ

目次

学習の途中で迷ったときは、全体地図とあわせて確認してください。

区分	内容	ページ
START	今の自分を書いておこう	4
全体地図	学習ルート全体像	5
STEP1	薬局全体を見る	6-7
STEP2	患者さんの目で見ると	8-9
STEP3	問題を解決する	10-12
STEP4	判断する	13
STEP5	任せる	14-15
STEP6	育てる	16-17
STEP7	数字で見る	18-19
STEP8	伝える	20-21
GOAL	自分の薬局を一つ良くする	22-24
FINAL	もう一度、自分の薬局を見る	25
NEXT	管理薬剤師＋あなたの強み	26

START | 今の自分を書いておこう

最後にもう一度同じ質問に戻ります。今の感覚を、そのまま残しておいてください。

管理薬剤師として、今一番困っていることは？

今、できていると思うことは？

逆に、不安なことは？

今の自分の薬局を10点満点で表すなら

/ 10点

なぜ、その点数にしましたか？

この学習ルートの全体地図

今どこにいるか迷ったら、このページへ戻ってください。

STEP1	見る	自分から「薬局全体」へ視点を広げる
STEP2	患者視点	待合室から自分の薬局を見る
STEP3	問題解決	気づく → 原因を確かめる → 解決策を考える
STEP4	判断	仕事が重なったときの優先順位を考える
STEP5	任せる	自分でやる・任せる・一緒にやる
STEP6	育てる	教える・一緒に考える・任せる
STEP7	数字	数字から薬局の変化を見つける
STEP8	伝える	改善案を人に伝え、協力してもらう
GOAL	改善	自分の薬局を一つ良くしてみる

「自分ができる」から「チームとしてできる」へ

まず、自分とスタッフの強み、そして自分が抱えている仕事を見える形にします。

自分の得意なことを3つ

スタッフ

この人の強み

今、自分が抱えている仕事を3つ

チームとして自分の薬局を見してみる

自分一人ではなく「チーム」として考えたとき、気づいたことは？

スタッフの強みを、もっと生かせそうな場面は？

自分が抱えなくてもよさそうな仕事はありましたか？

このページと前ページはSTEP5でもう一度使います。

待合室に座って、自分の薬局を見てみよう

今日の実践 | 患者さんが座る場所に座って、自分の薬局を見てみます。

良いと思ったところ

気になったところを5つ

カウンターの外から見たことを残す

5つの中で、特に気になったことは？

そのとき、患者さんには何が起きている？

カウンターの内側では、どんな業務や仕組みが関係していそう？

この「気になること」をSTEP3へ持っていきます。

「気になる」を、本当に改善したい問題に変える

STEP2から一つ選ぶ | 今回取り上げる「気になること」

患者さんには何が起きている？

今はどうなっている？

本当は、どうなっていてほしい？

その間にあるギャップは？

原因を決めつけず、現場の事実を確かめる

私が改善したい問題は……

原因候補	事実か、推測か
	☐ 事実 ☐ 推測
	☐ 事実 ☐ 推測
	☐ 事実 ☐ 推測

※「実際に確認できたこと」なら事実、「まだそう思っている段階」なら推測にチェックします。

一つ、現場で確認する | 何を、どうやって確認する？

確認して分かった事実

解決策を一つに決めつけない

解決策	効果	安全	実行しやすさ	スタッフ負担
①	○△×	○△×	○△×	○△×
②	○△×	○△×	○△×	○△×
③	○△×	○△×	○△×	○△×

※それぞれ、当てはまる記号を一つ選んで○で囲みます。

これをやったら、患者さんには何が起きる？

今のところ一番試してみたい方法

仕事が重なったら、何から対応する？

5つが同時に起きたとします。まず直感で順位をつけ、その後4つの視点で考え直します。

順位	出来事
	A 患者さんから「30分以上待っている」と声をかけられた
	B 薬剤師から処方内容について判断を求められた
	C 午後勤務予定の薬剤師から欠勤連絡が入った
	D 午後に必要な薬が不足する可能性が分かった
	E 本部から正午締切の回答依頼が届いた

安全	緊急性	放置した 影響	自分でなければ 判断できないか

最初と順番は変わりましたか？ なぜ？

「自分でやった方が早い」から抜け出す

STEP1で書いた「自分が抱えている仕事3つ」を見ながら整理します。

仕事	自分で	任せる	一緒に	なぜ？
	☐	☐	☐	
	☐	☐	☐	
	☐	☐	☐	

この仕事を一緒にやってみたい人は？ なぜその人？

今週「一緒にやる」仕事を一つ

任せたあとに、もう一度考える

やってみた結果 | どこまでできた？

どこで困っていた？

自分は、どこまで手を出した？

次はどこまで任せられそう？

「教える」だけでは人は育たない

このスタッフが一人でできること

少し支えればできそうなこと

まだ教える必要があること

今週、一度だけ試す | 安全上・時間上問題がなければ、相談されたとき「あなたはどうか考えた？」と聞いてみる。

相手の現在地を見て、次の関わりを考える

相手は何と答えた？

思っていたより、できていたことは？

どこで止まった？

次に何を経験してもらおう？

数字から、自分の薬局で起きていることを考える

今回見る数字： ☐ 処方箋枚数 ☐ 在庫 ☐ 廃棄 ☐ 残業 ☐ その他（ ）

どんな数字・変化があった？

なぜ、この数字になっている？ | 原因候補を3つ

一つ現場で確認する | 何を確認する？

数字を見て、もう一度現場へ戻る

実際に確認して分かったこと

この数字の向こう側で、患者さんには何が起きている？

数字だけを改善しようとする、逆に困ることはない？

1枚で整理する「薬局改善シート」

① 今、何が起きている？

② 何が問題？

③ どういう状態にしたい？

④ そのために何をする？

⑤ 誰の協力が必要？

根拠として使える事実・数字

実際に一人へ伝えてみる

誰に伝える？

30秒で伝えるなら、何を伝える？

相手の反応・意見は？

話してみて、自分の案は変わった？

自分の薬局を一つ良くしてみよう

私は、この薬局の を改善する。

患者さんに、どうなってほしい？

まず何を試す？

誰とやる？	いつから？	どのくらい試す？

始める前に、確認しておきたいこと

やってみた結果を残す

何をやった？

患者さんには、どんな変化があった？

スタッフには、どんな変化があった？

数字には、どんな変化があった？

改善を次につなげる

うまくいったこと

うまくいかなかったこと

次に変えるなら？

今回の改善で、自分が学んだこと

FINAL | 最後に、もう一度待合室へ

STEP2と同じ場所に座って、自分の薬局をもう一度見てみてください。

最初に座ったときと比べて、今は何が見える？

START時点	現在
/ 10点	/ 10点

点数が上がっている必要はありません。以前は見えていなかった問題が見えるようになり、むしろ点数が下がることもあります。それも一つの成長です。

この学習ルートを始める前と比べて、今のあなたには自分の薬局がどう見えていますか？

管理薬剤師＋あなたの強み

管理薬剤師はゴールではありません。ここで得た経験の上に、あなた自身の強みを積み上げていきます。

次に伸ばしたいものに○をつけてください。

在宅／教育／マネジメント／医療安全／地域連携／専門性／経営／その他

私が次に伸ばしたいこと

次に薬局教育部で学びたいこと

管理薬剤師＋あなたの強み